

Festina lente

"The world of fairy tale " in Kimberley Park

2018 11月号 Highlights

- ・オーストラリア、最高でした！
- ・海外から来た仲間たちです！
- ・岩田生らしい冬の装いを！
- ・ボランティア活動も頑張ってます！

高1(IWATA)修学旅行記

学年主任 山月秀夫

進路指導部より 主任 池辺和則

学校評価アンケートについて
教頭 児玉洋司

10~11月 部活動の結果

特活主任 川元威彦

留学生のご紹介

APU・立命館コース主任 荒金正治

生徒指導部より

生徒指導主任 野村哲也

保健室より 養護教諭 野村めぐみ

生徒会募金活動のご報告

オーストラリア修学旅行記

今年も楽しく有意義なオーストラリア研修となりました。予定通りのスケジュールをすべて終え、全員が無事元気に帰ってきてています。

10月14日（日）早朝。多くの保護者の方々や学校関係者に見送られながら、33回生岩田コース73名が期待と不安を胸に学校を出発しました。今年度は、行きのシンガポールで一度出国し、乗り継ぎの時間まで観光することになり、シンガポールの象徴マーライオンを見たり、ナイトサファリを楽しんだりと、小雨模様でしたが充実した時間を過ごすことができました。それから夜の便に乗り、翌朝(10/15)オーストラリア第3の都市ブリスベンに到着です。

ブリスベンも雨。（この時期に雨が続くのはかなり珍しいそうです。期間中は、晴れ間も見られましたが、ぐずついた天気が多くなりました。）降ったり止んだりするなか、ローンパインコアラ保護区でコアラやカンガルーと対面。巨大トカゲが普通に歩いている

高1 学年主任 山月秀夫

様子には生徒たちも少しビックリです。昼食はフィッシュ&チップスを食べました。その後、予定していたマウントクーサ（市内を一望できるスポット）を天候不順のためあきらめて、代わりに近くのモールでショッピング。オーストラリアで馴染みの店や商品を教えてもらったり、買い物の仕方を学ぶなどしましたが、生徒たちには意外と好評でした。

そしてよいよ、それぞれの通う学校でホストファミリーと対面です。緊張した面持ちの者が多かったです。しっかりと笑顔で挨拶を交わすことができました。日本を発つてからここまで行程は楽しいながらもとてもハードに感じられ、生徒の疲れは相当だったと思います。ホームステイ初日はよく眠れたことでしょう。

翌日(10/16)から学校生活の始まりです。各校で歓迎セレモニーを開いていただき、その後バディー（お世話係として一人ひとりについてくれる現地の生徒）と対面しました。現地の教師による英語の授業（岩田生のため



出発式で抱負を述べる!!



経由地シンガポールにて



オーストラリアを実感





修学旅行スナップ集

(つづき)

の特別プログラム）を受けたり、バディーが受講する授業に参加したりしました。（詳細は本校HPのブログに記載しています。）はじめはほとんどの生徒が現地の先生やバディーと話すことが出来ない状態でしたが、時間が経つにつれて、先生に質問したり、バディーや現地の学生たちと積極的に関わり、うなずいたり笑ったりする姿が見られるようになりました。疲れなどからくる体調不良もありましたが、ほとんどの者は学校がとても楽しかったと感想を述べてくれました。

そしてあっという間に学校最終日(10/19)。それぞれの学校ではフェアウェルパーティーが催されました。岩田の生徒たちもお礼の気持ちを込めてさまざまな出し物を披露しました。楽しくおしゃべりしたり、ときには抱き合って別れを惜しむ姿が見られました。連絡先を交換する生徒も多く、将来にもつながる関係を築くことができたようです。

週末の2日間(10/20, 21)はホストファミリーと過ごす時間です。ショッピングに行ったり、ゴールドコーストを観光したり、ファミリーの親戚の家に行ったり、それぞれ有意義なひとと

きが過ごせたことと思います。（そうでなかつた人もいるかも知れませんが、それもひとつの経験として前向きに捉えられると良いですね。）

オーストラリア最後の日(10/22)。ホストファミリーとの別れの時間がやってきました。明るく笑顔で話をしたり、握手したり抱き合ったり、なかには涙する生徒もいました。本当に貴重な体験ができたと思います。

ジャカランダの花木が紫に咲き誇るこの季節。今回の研修旅行を通じて、皆が文化の違いを認識し、オーストラリアと日本のそれぞれの良いところを実感することができました。もちろん反省すべき課題もいくつかありました（特に、携帯電話・モバイルルーター【ポケットWi-Fi】の利用法），この研修の主な目標である「積極性と自立心の向上」・「異文化交流と理解」は間違いなく達成されたものと確信しています。

今回の修学旅行でお世話になったJTBの添乗員さん、現地旅行会社のコーディネーターの方々、そして保護者の皆様には、厚く御礼申し上げます。





ブリスベン

夏の对外模試成績概評

7月上旬に中3～高2が受験したベネッセ総合学力テストの成績結果と、高校3年生の近況などについてご報告いたします。

まず初めて進研模試を受けた中3（34回生）ですが、難関大学到達ラインであるSゾーンに9名（約9%）が入りました。また、国立大学レベルであるB2以上では56名となっています。これは過去5年間の本校生とほぼ同数になっています。ご存知のように本校の中3は、一般の高1と同じ模試を1年早く前倒しして受験しています。例年、中3と高1の同じ時期の模試を比べると、一年間で平均して1～2ほどゾーンのランクが上がります。高校1年7月の過去5年間の平均では、Sゾーンが20%，国公立レベルに約80%の生徒が位置しています。34回生は受験をした英数国の中では数学の上位者数（偏差値65以上）が過去5年間で最高となっており、今後の取り組みが期待されます。

次に高1（33回生）ですが、中3の1月の結果と比べると、Sゾーンの割合が10%から30%へ急増し、また国立大学レベルであるB2以上でも64%から76%と増加しており順調に学力を伸ばしてきます。高1

進路指導主任 池辺 和則

は、これから生徒会活動や部活動などでも学校の中心となる立場です。学習面でも全校を引っ張っていくという自覚をもって、さらに学力を向上させてくれるものと期待しています。

続いて高2（32回生）ですが、Sゾーンの割合が19%，B2以上では60%となり、Sゾーンについては昨年同様、過去5年間の中でも比較的高い結果となっています。模擬試験の全国的な傾向として学年が上がると、参加校が絞られて偏差値が下がる傾向にありますので32回生は十分に健闘したといえます。3学期を高3（受験学年）0学期と位置付け、学習に対する意識をしっかりと持ち、更に成績を伸ばしてくれることを期待します。

最後に高3（31回生）ですが、センター試験まで2ヶ月を切り、早朝から夜遅くまで、受験勉強に取り組んでいます。31回生は医進クラス初年度学年ということもあります、様々なプレッシャーと戦いながら学校生活を送ってきた生徒たちです。きっと強い意思と前向きな気持ちで夢を掴んでくれるものと期待しています。また、そのためにも、高3学年団とともに、進路指導部も

全力でサポートしていきたいと考えています。

今後、他学年もベネッセの第2回学力推移調査、駿台模試の結果が返ってきます。模試の個人成績が返却される際には、順位や点数、志望校の判定も気になるでしょうが、分野別の得点にも注目して下さい。次の模試では、今回できなかった分野で結果を出せるように取り組むことが、学力向上をもたらす最良の方法の1つです。是非実践してみて下さい。

進研模試(ベネッセ)のランク(抜粋)

S1	東京、京都、一橋(経・商・法)、難関国立医
S2	大阪(理・工)、九州(文・法・薬)、大分(医)
S3	九州(経・工・農・歯)、熊本(薬)、福岡(医)
A1	広島(文・法)、九州(理・芸工)、熊本(法)
A2	広島(理・工)、熊本(文・理・工)、佐賀(農)
A3	大分(経)、長崎(経)、九州工業(情報工)
B1	北九州市立(地域創生)、山口(工)、福岡(商)
B2	大分(理工)、琉球(工)

学校評価アンケートの報告～満足度向上へ～

教頭 児玉 洋司

また、学校満足度向上に向けて生徒対象の授業アンケートは3学期にタブレットを活用したシステムに移行予定です。懇談会等で学年が行うものと併せて分析していきます。

「取るだけのアンケート」にしてしまっては意味がないことを全職員の共通理解として、教育力向上に鋭意努力します。

全体	学校評価	回収率 50%	そう思う←→普通←→思わない				
			5	4	3	2	1
項目							
(1)お子さんの岩田での学校生活は、充実していると思われますか。			49%	33%	14%	3%	2%
(2)教育活動について、保護者の方への情報伝達が適切に行われていると思いますか。			31%	31%	29%	6%	3%
(3)生徒が学校の指導にしたがって自ら進んで学習活動に取り組んでいると思いますか。			24%	26%	33%	14%	3%
(4)部活動は、学習との両立を配慮したものになっていると思いますか。			35%	26%	31%	6%	3%
(5)進路指導は、生徒の希望に対して適切にサポートするものになっていると思いますか。			20%	33%	38%	5%	3%
(6)進学実績は、生徒や保護者の満足するものであると思いますか。			13%	35%	39%	9%	5%
(7)生徒の頭髪や服装は、好感が持てるものになっていると思いますか。			36%	35%	27%	2%	0%
(8)生徒は、挨拶がよくでき、態度もよいと思いますか。			29%	35%	27%	6%	3%
(9)施設・設備は、全般的に満足していますか。			25%	39%	22%	8%	5%
(10)先生は、面談や家庭訪問を通じて、親身に対応してくれていると思いますか。			40%	32%	21%	3%	4%

夏季休業中に実施した「学校評価アンケート」の集計結果についてご報告します。全集計数は303名(50%)でした。兄弟姉妹での重複を含めれば、保護者からの回収率は6～7割程度になるのではないかと考えます。

(参考:一昨年度300名→昨年度305名)

(1)の項目で、約8割の方が充実していると回答がありますが、進学実績の向上を最優先課題と受け止め、教務・進路・生活

指導面を全職員でサポートしていきます。

記載された貴重なご意見については、校長がすべて確認し、改善すべき点は関係の主任や個人、事務局に通知しています。

ご質問に関しての回答ですが、ひとつに対してもお答えすることが難しく、全体的に多く共通する内容については、11月17日開催の学校説明会や学園だよりで説明させていただきます。



学園だより

10~11月部活動の結果報告 特活主任 川元威彦

●高校野球部

★九州高等学校軟式野球大会大分県予選

1回戦 岩田 1-6 東九州龍谷

3位決定戦 岩田 3-8 宇佐

岩田コースの高2にとって最後の試合でした。敗れはしましたが、夏休み以降チーム練習がほとんどできなかつた中で、随所に好プレーで得点を与えず、みんなで声をかけあって、点差を感じさせない雰囲気でした。苦しい試合展開で心が折れそうになつても「元気」と「笑顔」で2試合最後まで戦いました。

(顧問:宗)

●高校サッカー部

★サッカー選手権大会大分県大会

2回戦 岩田 0-10 大分

対戦相手の大分高校はいハイ予選の覇者であり絶対的王者。本校は修学旅行の関係で高校1年がAPUコースの3人しかいない状態。選手権予選は他の大会と比べても重要な大会で試合時間も40分ハーフの80分という長い試合を11人で戦う（交替無し）という苦しすぎる状況でした。こういう状況の中、我々の取り組み方は「力尽きるまで全力で守る！」でした。結果は10点も取られましたが、残り20分までは0-4でした。試合の終盤になり、運動量の多い相手のエースをマークしていた選手が足をつったり、ペディングの競り合いで何度もジャンプを繰り返すことでとうとう足が動かなくなる選手が出てきて力尽きてしまいました。ですが、「パワーと切れを付ければもっと守れる」という手応えを持ち帰ってきましたので、今後のペナルティに期待したいと思います。(顧問:野村)



★★★高校新人戦★★★

●剣道部

【個人戦】

2回戦進出：紅葉、ヤコブ

個人戦で2位・3位となった強者に惜敗しました。ヤコブは新聞で紹介されていた為、注目度も高く、多くの先生方より試合内容を評価されていました。(顧問:阿部順)



●バスケットボール部

【男子】1回戦 岩田 41-102 大分東明

【女子】1回戦 岩田 48-54 大分上野丘
男子は高校2年生5名での出場。テスト前で、十分な練習時間がとれず、後半では足をつる選手が出ましたが、最後まで必死に戦い続けました。

女子は終始接戦。得点を重ねるための良いプレーも増えましたが、自分たちのミスからボールを失う場面が多くありました。男子同様、足をつる選手も出ましたが、最後まで粘り強く頑張りました。(顧問:牧野)

★★★中学新人戦★★★

●野球部

★大分市新人戦

岩田 1-5 城東

「試合を楽しもう」とだけ指示して初戦に臨みました。初回に四死球とホームが絡み3点を先制されましたが、その後はミスもなく、引き締まった展開となりました。守備からリズムをつくり、3回には1点を返しましたが及びませんでした。選手は、最後まで指示通り、積極的に元気よく楽しくプレーできま

した。

(顧問:赤木)

●バスケットボール部

★大分市新人戦

【男子】

岩田 29-63 植田東 岩田 50-39 大東
決勝トーナメント1回戦 岩田 22-71 南大分

予選リーグの大東戦、ミスを重ね、ショットが入らずリードされるものの、DFから立て直し、守って走るバッローを展開して逆転。バッロー部初の予選リーグ突破となりました。決勝トーナメント1回戦では、点差をつけられて大敗しましたが、やってきたことを出そうとする姿勢、意図したプレーがみられ、先につながる良い内容の試合だったと思います。

(顧問:野田)

【女子】

1回戦 岩田 6-77 坂ノ市

2回戦 岩田 2-128 滝尾

1・2回戦ともに強豪校相手に終始圧倒される試合となりました。思うようなプレーもできず、苦しい戦いとなりましたが最後まで諦めることなく、DFをがんばりました。今後は、試合で明らかになった弱点を修正し、次に繋げられるように頑張ります。

(顧問:牧野)

★大分県新人戦

【男子】

1回戦 岩田 48-64 白杵西

白杵市新人戦1位の相手に序盤から果敢にチャレンジし、ミスしても取り返し、「あわや…！」というところまで迫りました。ここぞというところで、経験不足からのミスを重ね、残念ながら敗退。試合内容的には先が見える良いものでした。(顧問:野田)

【女子】

1回戦 岩田 13-34 挿間

1試合を通して、練習でやってきたDFをやりきろうという意識を高く保ち、34点に抑えることが出来ました。チームとして得点力を上げることがこれからの課題。日々の練習から1本のショットを大切に打つよう心がけて欲しいと思います。(顧問:野田)



●卓球部

★大分市新人戦

【団体戦】

岩田 0-3 稲田 岩田 2-3 鶴崎

【個人戦】

2回戦進出：工藤、伊藤

2年生だけの出場となりました。団体戦、個人戦もあと一歩で勝利という試合が続きました。この悔しさを今後の練習に活かしてほしいと思います。（顧問：後藤正）

●剣道部

★大分県新人戦

市新人戦で出場資格を得た、佐々木と田形の2名が個人戦に出場しましたが、初戦敗退。攻めにも繋がる「相手にプレッシャーをかける」強い気持ちがまだ不十分でした。次戦に向かって、技の向上と共に「攻め」に重要さも育んでいきます。（顧問：阿部順）

●陸上部

★大分市新人戦

【跳び幅】6位：七森

今回は「男女100m」に9名、「女子走幅跳」に3名、「女子砲丸投」に3名、「男女400mリレー」に8名の選手が出場し、七森選手が幅跳びで6位入賞を果たしました。入賞に届かなかった選手も大変良く健闘してくれたと思います。また、本校陸上部員は風力計測補助員として2日間大会を陰で支えてくれました。（顧問：上久保）



●テニス部

★大分市新人戦

【男子団体戦】1回戦 岩田 1-2 王子A

【女子団体戦】2回戦 岩田 0-3 豊府B

【男子個人戦シングルス】

2回戦進出：今吉、安部竜

3回戦進出：西田

【女子個人戦シングルス】

2回戦進出：鶴岡

【女子個人戦ダブルス】

QF進出：篠原幸&香嶋(Best8)

西田（男）・篠原幸（女）両主将が率いる新チームでの最初の大会でしたが、団体・個人とも「あと1勝」の結果に終わりました。課題は「安定したフォーム」と「意図を考えた打球」を身につけることです。

（顧問：立川・高橋）



●サッカー部

★大分市新人戦

岩田 1-1 坂ノ市

岩田 1-5 東陽・大東合同

新チームになって初めての公式戦。メンバーは11人ちょうどで、2試合交替無しという過酷な状況。さらに、11人中の4人はサッカーの試合に出場するのも生まれて初めてという状況でしたが、感想としては「意外に戦ったな。」という感じでした。2試合目の後半はさすがに疲れが目立ち、足が痙攣する者が数人出たりして力尽きましたが、それまでは全員がボールと相手に食らい付く魂のサッカーを見せてくださいました。Jリーグクラスの得点も生まれ、ベンチは大盛り上がりいました。次の試合に向けて練習の大切さを自覚して欲しいと思っています。（顧問：野村）

★大分県新人戦

1回戦 岩田 0-6 白杵西・津久見第一合同
スピードとパワーのある相手FWを抑えられず、失点を重ねる展開となりました。特にDFは組織で守ることの大切さを教えられました。市の新人戦からの試合で得た課題を頭に入れて、今後の練習に励みたいと思います。また、この試合では、本校では13年ぶりに女子が試合に出場しました。技術的にもまだまだ未熟ですが、刺激にはなっていたと思います。これから頑張りが楽しみです。（顧問：野村）

●高校囲碁将棋部

★第25回大分県高等学校将棋新人大会

酒見：4勝2敗（9位）

工藤：4勝2敗（14位）

今回も入賞にあと少し届きませんでした。来年度に期待します。（顧問：上杉）

●中学野球部

大分市1年生錬成軟式野球大会

岩田 3-0 城南 岩田 1-5 稲田

本年度は1年生部員が多く、久しぶりに本大会に参加することができました。3チームによるバトルは、1勝1敗の2位という結果になりました。2試合ともバッテリーがしっかりと試合を組み立て、守備・打撃も積極的なプレーで緊迫した試合となりました。2試合目は序盤に先制するも中盤に追いつかれました。その後6回まで同点で進みましたが、最終回に4点を取られ悔しい敗戦となりました。決勝トーナメント進出がかかった試合で、最後まで緊張感を持ってプレーできたことは今後につながります。この悔しさを糧に、今後の飛躍につながるよう精進させたいと思います。（顧問：赤木）

~~~~~

**応援や送迎に来ていただいた保護者の方々、本当にありがとうございました。  
今後ともよろしくお願い致します。**

# 学園だより



## 留学生のご紹介

**APU・立命館コース主任 荒金 正治**

APU・立命館コースでは2学期から5名の留学生を迎えたので、ここで紹介いたします。

- ※①校内の呼び名 ②出身国 ③留学のきっかけ
- ④実際に来日しての日本の印象 ⑤岩田高校の印象
- ⑥好きな日本のもの(人) ⑦コメント

### ●David Menzelくん

- ①ダビド
- ②ドイツ
- ③日本語の勉強をして、日本の文化を知りたかった。
- ④日本の夏は、むしむしして暑過ぎる。和製英語は面白い。自動販売機が多い。⑤サイエンス・フィクションの監獄みたい。でも僕はこれが好きです。
- ⑥日本の花鳥風月が好きです。
- ⑦日本語を勉強して、がんばりたい。

### ●Jakub Lohnickyくん

- ①ヤコブ
- ②チェコ
- ③I had an impression that Japanese people are kind, polite, and hard-working. It is a culture open to new things but keeps its old traditions.
- ④My impression has not changed after coming to Japan. It just showed what is already my impression, but I learned how people are different from each other.
- ⑤I showed the webpage of Iwata High School to my teacher of Japanese language, who is a Japanese lady, and she told me that a lot of students go to Toudai and this is a school with really smart people. I really have not made my opinion about it so far but I feel like if I was speaking Japanese since childhood, the education would not be a problem for me, except math.
- ⑥カラオケ、日本人のやさしさ、日本の料理

⑦I really do not want to go back to Czech and I have not even thought about it. Because right now everything seems better. I really did not have so many friends in high school, but now it's so different, even if there is a language barrier. I feel like everyone understands me better. That is probably because since I was little I showed interest in Japanese culture. Most people did not get it and just thought I was weird. So I would like to say "thank you."

### ●Aditi Aropalliさん

- ①アディティ
- ②インド
- ③To meet new people and learn new and interesting

things which I cannot learn through a secondary source of information.

- To improve my drawing.
- To improve my language.
- ④Japan is a very safe country, especially in road and traffic safety. I am surprised that there are not any trash bins anywhere, though.
- ⑤Japanese school life is very different from Indian school culture and I am happy to have experienced it through Iwata.
- ⑥カラオケ、食べもの
- ⑦日本語の勉強を頑張ります。

### ●OUTDOMCHAKRIYA SOTHさん

- ①リヤ
- ②カンボジア
- ③I have always been interested in Japan for as long as I can remember. It was just a matter of sooner or later that I would come here.
- ④I had tried to learn about Japan as much as I could before coming here. However, I still found myself surprised by many things such as the kindness, compassion, thoughts, reactions, and relationships between people.
- ⑤Iwata is quite different from schools in my country. I am lucky to have been able to be a part of Bunkasai. It was a great experience.
- ⑥天丼が好き。みんなが好きです。
- ⑦As much as I want many people to discover Japan, I also have the idea that Japanese students go around to discover the world. Some feelings and ideas just cannot be explained. You need to experience it for yourself.

### ●胡澤兵くん

- ①こたくへい
- ②中国
- ③日本の文化（特にアニメ）に興味がある。また、実際に日本のものを見たかった。中国と違う教育方法で勉強したいと思った。
- ④静か。自然災害がよくある。人々が親切だと思う。
- ⑤雰囲気がいいと思います。
- ⑥仮面ライダー
- ⑦留学して2ヶ月で、いろいろなことにも慣れました。留学できて本当によかったです。異国文化を体験できる。同じ興味を持っている友人もできた。また、他の国の留学生とも交流できる。本当に嬉しいです。

ダビド君、ヤコブ君、胡君は来年7月まで、アディティさん、リヤさんは来年2月まで、それぞれ本校で留学生活を送って異文化交流をします。

\* 5名の写真は8ページをご覧下さい



## 生徒指導部より

## 生徒指導主任 野村 哲也

11月1日より冬服完全更衣となりました。

そこで、制服の遵守規定を掲載します。ご家庭でも熟読の上、登校時のお子様の服装を確認してくださいますようお願い致します。

合わせて防寒着等に関する注意事項も記載しておきます。防寒着が原因による自転車事故も毎年発生しておりますので、ご家庭でも注意、呼びかけをお願いします。

### \*制服・服装の遵守規定

#### (1) 服装

男子 冬服 指定の学生服上下。（トキハにて販売）

注意：上着を脱ぐ場合には、白のYシャツを着ていること。上着の下からシャツのすそを出さないこと。また、セーター類もすそやそでを出さないようにすること。上着のボタンをすべて留めること。

女子 冬服 指定の制服上下。（トキハにて販売）

指定のブラウスを着用のこと。

注意：ブレザーの下からブラウスのすそを出さないこと。また、セーター類もすそやそでを出さないようにすること。上着のボタンをすべて留めること（ただし、中学は集会以外では、上着の一番上のボタンをはずしてもよい）。

：夏冬ともにスカートの丈は、膝にかかる程度の長さにすること。上部を巻いたりベルト等でたくし

上げたりして短くしないこと。

：ソックスの色は白、黒、紺の単色とし、長さは膝下（ハイソックス）までとする。一般的な形のものとし、ルーズソックス、ニーハイ、スニーカー ソックスなどは禁止とする。

#### 防寒着

- ・黒、紺、灰色の単色のものでフードがついてないもの、ファーなどの装飾がないものを着用すること。室内での着用は原則として禁止。
- ・学生服の中にパーカーを着用し、首もとからフードを出すのは禁止する。
- ・自転車通学の生徒は巻くタイプのマフラーを登下校で着用しないこと。
- ・手袋を着用して自転車に乗る場合は、滑らないか充分に確認すること。

#### (2) 靴について スニーカーまたは革靴（ヒール、ソールが通常のもの）ブーツ類禁止。

#### (3) 頭髪など

頭髪を染色したり、付け毛をしたり、パーマをかけたりしてはいけない。ピアスなどの装飾品を身につけてはいけない。また、ピアス用の穴を開けないこと。華美な髪留め類は控えること。化粧（色つきリップを含む）をしてはいけない。

## ほけんしつから

### インフルエンザワクチン接種状況

インフルエンザワクチン接種を11月中旬より実施しています。

昨年度は、インフルエンザが大流行し、学級閉鎖・学年閉鎖する所もありました。

今年度は、手洗い・うがい・マスクの着用・規則正しい生活で

インフルエンザに罹患しない！ことを目標に過ごして頂きたいと思います。

### ※インフルエンザワクチン接種者数

1年生 27名、 2年生 45名

3年生 36名、 4年生 25名

5年生 41名、 6年生 34名

教職員 32名



## 養護教諭 野村めぐみ

### 3回生WYSHプロジェクト

12月に3回生WYSH授業を予定しています。

3年生では、STD・エイズについて学習しました。

5年生では、妊娠・出産・育児について



長かった2学期も残すところ1ヶ月足らず。このところ朝夕の冷え込みが厳しくなってきました。生徒の皆さん、体調管理を心がけて、期末考査に向けてしっかり準備をしましょう。

あしなが学生募金の様子



北海道被災者支援募金の様子



## 生徒会募金活動のご報告

**生徒会担当 上久保 晃**

10月21日（日）、本校の中2年と高2年生の有志50名が、「第97回あしなが学生募金活動」に参加。場所をトキハ前とセントポルタ中央町の2箇所に分けて活動しました。

今回高2年生は10時～18時、中2年生は13時～15時の活動時間でしたが、生徒たちは精一杯の大きな声と笑顔で、長時間にわたる募金活動に懸命に励んでいました。

今回集まった募金の全額は、病気・災害等によって親が亡くなったり、重度の障害を負って働けなくなった家庭の子どもたちが高校・大学進学する際の奨学金として使われます。

また、11月10日（土）には、大分県ユネスコ協会主催による『H30年度北海道胆振東部地震 被災者支援募金活動』が行われ、本校からも高2年生の有志19名が参加しました。

当日は午前中の授業が終ったあとすぐには街の中心部に移動、14時半～16時にわたって大分駅前内口などで、道行く人々に募金の呼びかけを行いました。

この募金は高校生を中心に行われ、被災地にいる同じ学生に激励の気持ちを伝えるとともに募金で得た収益を寄付することで少しでも早い教育環境の整備を進めることを目的としたものです。

## 留学生のご紹介

**APU・立命館コース主任 荒金 正治**



左から ダビドくん、胡くん、アディティさん、リヤさん、ヤコブくん

<http://iwata.ed.jp/>

ホームページやブログでCheck !

能力の差は小さいが  
努力の差は大きい

脚力尽くる時、山更に好し。  
輝ける未来へ、全力でサポートします！



**November 2018 edition**

大分市岩田町1-1-1

学校法人岩田学園

電話 097(558)3007

Fax 097(556)8937

Email iwata@iwata.ed.jp



21世紀の有為な人材を育成する  
**岩田中学校・高等学校**